

チーム内コミュニケーション・相互リスペクトを推進する 大喜利ワークショップ+オモシロの科学講座

社内コミュニケーションを円滑にするうえで、
「笑顔」や「ユーモア」の活用は、とても効果的です。

しかし、お笑い芸人の真似をしてしまったり、特別おかしな冗談を言って、
相手を笑わせよう、と意気込んでも、「苦笑い」「作り笑い」ばかりが増えて
逆に関係性がギクシャクしたり、雰囲気が悪くしてしまうことも。

職場に【自然な笑顔をつくり、広げるための「コツ」と「具体策」】を、
オモシロの科学「大喜利メソッド®」を通して、方法論としてお届けします。

チームを強くする、お互いの信頼関係をつくるためのユーモアと、
そうでない駄目なユーモアの違いを「笑いながら、楽しみながら」学びましょう。



当日の講座モデル

「2時間」での研修として編成 / 内容、詳細は研修目的や受講人数等で調整いたします

研修では、お題にボケる「大喜利」にチャレンジするだけでなく、
以下のコンテンツを複合的に組み合わせることで実施し、学びの最大化と定着度の向上を計ります。

オオギリ脳 刺激ゲーム

アナログゲームを通して大喜利に必要な感性とマインドをほぐす「準備運動」を実施。アタマの瞬発力、読解力や編集力、表現力・アドリブ力などを磨く効果もあります。



オオギリ的ワーク

ワークシートや付箋を活用した、ビジネスでも馴染みある形式のワークも使い、複線的・多角的なアプローチで感性の発信意欲や創造性＝「オオギリ脳」を刺激します。



大喜利チャレンジ

ペンとボードを手に、テレビ番組しながらに「お題にボケる」チャレンジ。お題は受講者の属性・適性や研修ニーズに沿ってオーダーメイドでご用意し、学習効果を最大化します。



座学・講話

日本唯一の大喜利の研究者による「オモシロの科学」を伝授。理論的裏付けのインプットによる安心感・信頼感が、ワークショップへの参加を促進し、さらなる効果を生みます。



アジェンダ (案)

オオギリ脳刺激ゲーム

講話「私達にとって問い→解 とは何か」

オオギリ的ワーク「あたりまえ、との付き合い方」

大喜利チャレンジ！ (1)

講話「オモシロを科学的につくる方法」

オオギリ的ワーク「期待を裏切る 練習?！」

講話「自然な笑顔を阻害するNGワードと対処法」

大喜利チャレンジ！ (2)

実施目的 (例)

- ・職場内の雰囲気を良くしたい、相互理解を促進したい
- ・職場内コミュニケーションをリードする人材を育てたい
- ・生産性向上のため、部門部署・チームメンバーとの関係により良いものにするきっかけをつくりたい

学習目標 (例)

- ・大喜利体験とオモシロの科学講座を通して「笑顔づくり」の具体的な方法に触れる
- ・職場で使うべきではない「NGワード」やこの考えに陥ってはいけない「NGマインド」を、ことばあそびによる体験・実感を通して学ぶ
- ・誰かが誰かを楽しませてくれる、ではなく「お互いに笑顔にしあう体験」を通して他者へのリスペクトと共同性を深層心理で育む

*単発でなく、全3～4回の複数回編成として、より成果・効果にフォーカスした講習もお届けできます。ご相談ください。

実施要件

- 時間 : 基本 120分 / 90～150分にて対応可能、要相談 (途中休憩 5分予定、質疑応答時間を含)
- 実施可能人数 : 5人～100人程度
- 備品・消耗品 : 不要 (大人数参加の場合、参加型コーナーで「個人のスマートフォン」を利用する場合があります)

オンライン講座の場合

- ・マイク、カメラの「Off」状態での参加も可能です。
- ・1人1台のPCからの参加が理想ですが、各拠点に1台でも可能です。
- ※ スマートフォンやタブレットからの参加も不可能ではありませんが、操作や表示設定の個別フォローはいたしかねます

集合型講座の場合

- ・レジュメ (A4 1枚程度) 配布にご協力ください。
- ・ワーク内容、人数によって「フリップ大喜利」を実施する場合、必要備品は講師で用意します。

「雑談力」が200%向上する 写真で一言大喜利ワークショップ



テレビ番組やWebアプリでもお馴染みの、
画像や写真に一言ユーモアを添える「写真で一言大喜利」。
実は、これには、誰でもボケを量産できる、**秘密の【攻略法】**があるのです。

この【攻略法】が、なんと、日常会話や
ビジネスシーンにも役立つ「雑談力」の**コツと直結**しています。

本ワークショップでは、参加型の「写真で一言大喜利ワーク」と
【攻略法】のレクチャー、トレーニングを通して、
「笑顔でユーモアづくりを楽しみながら、【雑談力】を
向上する時間」をお届けします。



当日の講座モデル

「2時間」での研修として編成 / 内容、詳細は研修目的や受講人数等で調整いたします

研修では、お題にボケる「大喜利」にチャレンジするだけでなく、
以下のコンテンツを複合的に組み合わせることで実施し、学びの最大化と定着度の向上を計ります。

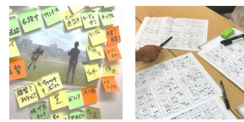
オオギリ脳 刺激ゲーム

アナログゲームを通して大喜利に必要な感性とマインドをほぐす「準備運動」を実施。アタマの瞬発力、読解力や編集力、表現力・アドリブ力などを磨く効果もあります。



オオギリ的ワーク

ワークシートや付箋を活用した、ビジネスでも馴染みある形式のワークも使い、複線的・多角的なアプローチで感性の発信意欲や創造性＝「オオギリ脳」を刺激します。



大喜利チャレンジ

ペンとボードを手に、テレビ番組しながらに「お題にボケる」チャレンジ。お題は受講者の属性・適性や研修ニーズに沿ってオーダーメイドでご用意し、学習効果を最大化します。



座学・講話

日本唯一の大喜利の研究者による「オモシロの科学」を伝授。理論的裏付けのインプットによる安心感・信頼感が、ワークショップへの参加を促進し、さらなる効果を生み出します。



アジェンダ (案)

参加の練習ゲーム「あたりまえの質問」

講話：「写真で一言大喜利って、なに？」

「写真で一言大喜利」チャレンジ！(1)

講話：「写真で一言」攻略の3ステップ

オオギリ的ワーク「写真の拡張」

オオギリ的ワーク「# エクササイズ」

「写真で一言大喜利」チャレンジ！(2)

講話：「雑談力の正体」

実施目的 (例)

- ・販売職、営業職などの「トークスキル」を向上させたい
- ・職場内のコミュニケーション文化の促進のきっかけとしたい
- ・「写真で一言大喜利」を体験してみたい、楽しみたい

学習目標 (例)

- ・【雑談力】の正体とコツを知り、雑談への苦手意識をなくす
- ・【写真で一言大喜利】の攻略法を通して、セカイを見る目、インプット/アウトプットの感性を刺激し話術やアイデア創発スキルを向上する
- ・「ユーモアの創造→発信 / 受信」を通して、発信意欲とコミュニケーションマインドを刺激する
- ・誰かが 誰かを 楽しませてくれる、ではなく「お互いに笑顔にしあう体験」を通して、他者へのリスペクト・共同性を深層心理で育み、さらなる雑談力UP

※単発でなく、全3～4回の複数回編成として、より成果・効果にフォーカスした講習もお届けできます。ご相談ください。

実施要件

- 時間 : 基本 120分 / 90～150分にて対応可能、要相談 (途中休憩 5分予定、質疑応答時間を含)
- 実施可能人数 : 5人～100人程度
- 備品・消耗品 : 不要 (大人数参加の場合、参加型コーナーで「個人のスマートフォン」を利用する場合があります)

オンライン講座の場合

- ・マイク、カメラの「Off」状態での参加も可能です。
- ・1人1台のPCからの参加が理想ですが、各拠点に1台でも可能です。
- ※ スマートフォンやタブレットからの参加も不可能ではありませんが、操作や表示設定の個別フォローはいたしかねます

集合型講座の場合

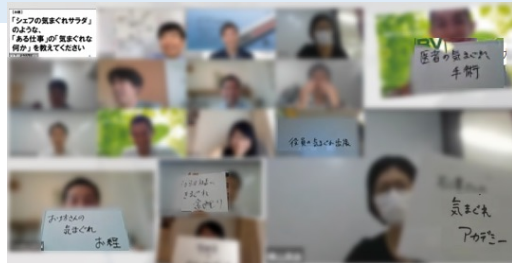
- ・レジュメ (A4 1枚程度) 配布にご協力ください。
- ・ワーク内容、人数によって「フリップ大喜利」を実施する場合、必要備品は講師で用意します。

創造力・アイデア創発力 が爆上がりする 「大喜利メソッド®基礎講座 & 大喜利体験ワークショップ」

日常会話において 相手の気を引いたり、
仕事で企画やタイトルを提案したり、
相手に「ウケる」、「オモシロい発信」は、
特別なセンスのある人の特権ではありません。

**オモシロは、理論と構造さえ掴めば、
「さがして、みつけて、つくる」ことができます。**

延べ6,000人以上を指導してきた大喜利ファシリテーターの
大喜利メソッド®の伝授と参加型ワークの体験を通して、
「オモシロの正体」と「オモシロのつくりかた」を知り、
あなたの発信を「相手にウケるもの」に確実に近づける講座です。



当日の講座モデル

「2時間」での研修として編成 / 内容、詳細は研修目的や受講人数等で調整いたします

研修では、お題にボケる「大喜利」にチャレンジするだけでなく、
以下のコンテンツを複合的に組み合わせて実施し、学びの最大化と定着度の向上を計ります。

オオギリ脳 刺激ゲーム

アナログゲームを通して大喜利に必要な感性とマインドをほぐす「準備運動」を実施。アタマの瞬発力、読解力や編集力、表現力・アドリブ力などを磨く効果もあります。



オオギリ的ワーク

ワークシートや付箋を活用した、ビジネスでも馴染みある形式のワークも使い、複線的・多角的なアプローチで感性の発信意欲や創造性＝「オオギリ脳」を刺激します。



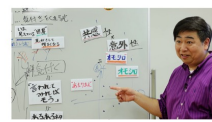
大喜利チャレンジ

ペンとボードを手に、テレビ番組さながらに「お題にボケる」チャレンジ。お題は受講者の属性・適性や研修ニーズに沿ってオーダーメイドでご用意し、学習効果を最大化します。



座学・講話

日本唯一の大喜利の研究者による「オモシロの科学」を伝授。理論的裏付けのインプットによる安心感・信頼感が、ワークショップへの参加を促進し、さらなる効果を生みます。



アジェンダ (案)



実施目的 (例)

- 想像力、企画力などを伸ばし、ビジネスに活かしたい
- 人を引き付ける、興味を喚起する発信や表現を身につけたい
- 笑顔づくりの方法を学び、職場やチームの雰囲気をよくしたい
- 「大喜利体験」という非日常の学びを体験してみたい

学習目標 (例)

- オモシロのつくりかたを科学的、構造的に学ぶことで不安・恐れを軽減し、能動性と発信性をストレッチする
- 「ユーモアの創造→発信 / 受信」を通して、発信意欲とコミュニケーションマインドを刺激する
- 他者と「楽しませ合う、笑顔をつくり合う」体験を通して他者の存在を感じ、共同性・共創性の価値を実感する。

*単発でなく、全3~4回の複数回編成として、より成果・効果にフォーカスした講習もお届けできます。ご相談ください。

実施要件

- 時間 : 基本 120分 / 90~150分にて対応可能、要相談 (途中休憩 5分予定、質疑応答時間を含)
- 実施可能人数 : 5人~100人程度
- 備品・消耗品 : 不要 (大人数参加の場合、参加型コーナーで「個人のスマートフォン」を利用する場合があります)

オンライン講座の場合

- ・マイク、カメラの「Off」状態での参加も可能です。
- ・1人1台のPCからの参加が理想ですが、各拠点に1台でも可能です。
※ スマートフォンやタブレットからの参加も不可能ではありませんが、操作や表示設定の個別フォローはいたしかねます

集合型講座の場合

- ・レジュメ (A4 1枚程度) 配布にご協力ください。
- ・ワーク内容、人数によって「フリップ大喜利」を実施する場合、必要備品は講師で用意します。